

文化芸術の振興に関するアンケート調査の結果概要（確定値）

（１）実施した調査の概要

（調査名）文化芸術の振興に関するアンケート調査

- ・調査対象：ア 無作為抽出した18歳以上の県民3,000人
イ 県内文化芸術関連団体60団体
- ・調査方法：アンケート調査票による書面調査（アはネット回答可）
- ・調査期間：令和元年9月10日～10月15日
- ・回収率：ア 35.1%（1,052人） イ 68.3%（41団体）

（２）調査結果の解説

18歳以上の県民

①昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術（17ページ）

- ・昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術を聞いたところ、「映画（アニメ含む）」が62.5%、以下「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」34.2%、「音楽（ポップス）」33.7%となっている。一方で、「鑑賞しなかった」が13.3%だった。
- ・地域別にみると、「地域の伝統芸能（みこしの練り歩き、村歌舞伎、踊り、笛・太鼓の音楽など）」は、“夷隅地域”で57.1%と、他の地域に比べ高くなっている。

②文化芸術を鑑賞（体験）した場所（22ページ）

- ・「昨年度に鑑賞（体験）した方」900人を対象に、鑑賞（体験）した場所を聞いたところ、「映画館（県内）」が57.6%で最も高く、以下「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県外）」36.8%、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）」35.9%、「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・携帯などの電子機器で）」33.3%となっている。また、「映画館」は『県内』が『県外』に比べ約42ポイント高く、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）」は『県内』が『県外』に比べ約17ポイント低い。
- ・地域別にみると、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県内）」は、“千葉地域”が27.5%と、他の地域に比べ高くなっている。

③文化芸術活動を行っていない理由（48ページ）

- ・「文化芸術活動に興味・関心があるが継続的に実施していないとした方」284人を対象に、行っていない理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」が48.9%で最も高く、以下「自分の都合のよい日時に実施されていないから」28.2%、「活動に関する情報が得られないから」25.4%となっている。
- ・家族構成別及び子どもの成長段階別でみると、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」は、“子がいる家族”で64.4%と、他の家族構成に比べ高くなっている。また、子のうち、小学生の子が88.2%、中学生の子が93.8%と特に高くなっている。

④居住地域における継承されている伝統芸能の有無（51ページ）

- ・お住まいの地域で継承されている伝統芸能があるかを聞いたところ、「ある」が50.0%となっている。また、「あるかどうか知らない」が31.2%となっている。
- ・地域別にみると、「ある」は、“夷隅地域”で92.9%、“安房地域”で81.0%“君津地域”で79.2%と、他の地域に比べ高くなっている。一方、「あるかどうか知らない」は“千葉地域”で39.3%、“葛南地域”で37.6%と、他の地域に比べ高くなっている。

⑤県内文化施設の認知 (65 ページ)

- ・千葉県内の文化施設で知っているものを聞いたところ、「千葉県文化会館」が 65.2% で最も高く、以下「県立美術館」40.6%、「県立房総のむら」40.0% となっている。
- ・千葉県居住年数で見ると、「知っているものはない」は、1 年未満で 28.0% と 1 年～3 年未満で 28.6% と他の居住年数に比べ高くなっている。「県立房総のむら」は、30 年以上で 44.1% と他の居住年数に比べ高くなっている。

⑥県が積極的に取り組むべき分野 (69 ページ)

- ・千葉県が積極的に取り組むべき分野を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が 39.3% で最も高く、以下「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」23.1%、「地域の文化芸術に関わる情報の提供」20.7%、「歴史的な建物や遺跡、文化芸術などを活かしたまちづくりの推進」20.5%、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」20.2% となっている。
- ・性・年代別で見ると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」は、男性の 30 代で 60.5%、女性の 30 代で 57.8% と、他の年代に比べ高くなっている。

文化芸術団体

①現会員 (加入者) の平均年齢 (74 ページ)

- ・現会員 (加入者) の平均年齢は、「70 代以上」が 43.9% で最も高く、「60 代」を含めた『60 代以上』は 75.6% を占める。

②成果の発表会や展示会等の実施頻度 (75 ページ)

- ・成果の発表会や展示会等の実施頻度は、「年 2～5 回程度」が 51.2% で最も高く、以下「年 1 回」が 29.3% となっており、約 9 割が年 1 回以上の発表会や展示会を行っている。

③活動に関する不満や不便な点 (78 ページ)

- ・活動に関する不満や不便な点を聞いたところ、「新規加入者が少ない」が 82.9% で最も高く、以下「団体の運営体制に不安がある」34.1%、「発表や展示をする場所がない・少ない」26.8%、「活動に要する経費が高い」24.4% となっている。

④団体が今後担っていききたい役割 (84 ページ)

- ・団体が今後担っていききたい役割を聞いたところ、「子どもたちへの文化芸術の普及、教育」が 61.0% で最も高く、以下「文化芸術を活用した地域の活性化」56.1%、「若手芸術家・文化人の確保、育成」51.2%、「公演、展覧会などの発表の機会の充実」43.9% となっている。
- ・団体の課題や悩みごとについて記述していただいたところ、「若い人の加入が少ない、会員が高齢化している」、「日本特有の文化の小学校、中学校での指導。中学校・高校の部活動の協力」、「財政面での支援」といった意見が寄せられた。

⑤振興のために県が担う役割 (86 ページ)

- ・振興のために千葉県が担う役割を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が 51.2% で最も高く、以下「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」46.3%、「芸術家・文化人や文化団体の活動の支援」41.5%、「若手芸術家・文化人の活動の支援」29.3%、「公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業の充実」26.8% となっている。